

## 信越トレイル（赤池～涌井）と志賀高原池めぐり報告

【山城】 長野県 北信

【日程】 2017年6月17日～18日

【参加者】 CL 菊池、杉山、井上（里）、加藤（記録）、会員外 M 氏

【行程】 17日 赤池 9:10—沼の原湿原—希望湖—毛無山—涌井の集落—馬曲温泉

【報告】 第1日目 晴れ



信越トレイルは新潟県と長野県の県境にある 80km に及ぶトレッキングコースで全コースを6つのセクションに分けられている。昨年10月のセクション1（斑尾山～赤池）に引き続き、今回は赤池～涌井のセクション2を踏破した。CLの元同僚のMさん、信濃町の女性4名も加わり、総勢9名の賑やかな山行となった。

集合場所は分かりにくく 9:10 やっと赤池に全員が揃った。ここには立派な2階建ての建物があるが施錠されていて中には入れない。トイレ、水は完備されている。車道を少し戻り、ブナ林が続く





登山道へ、丘を越え開けた沼の原草原に出た。木道を進むとサワオグルマの黄色いじゅうたんにレンゲツツジの鮮やかなオレンジ色が映え奥の高台から良く見渡せる。



湿原を後にすると車道があり立派なトイレと休憩スペースがある。すぐ登山道に入る。振り返ると斑尾山が見えるが妙高山は雲がかかっていた。灌漑用水池の希望湖は予想より大きく観光客・釣り客もいた。明るい湖畔で休憩後、最後の毛無山への登りとなるが頂上は展望がなく、少し先の開けた所から明日登る滋賀高原の山々や野沢温泉スキー場が見渡せ

た。この辺から傍らにワラビが目立つようになり、信濃町の皆さんも手伝って大量のワラビが収穫できた。終点の涌井集落には車がデポしてあり、CLが車を回収する待ち時間にフキもたくさん採ることができた。



車回収の途中、写真のようなお地蔵さんに癒された。

今夜の宿泊地馬曲温泉は3度目の宿泊で1部屋に5名で1人当たり 3280 円で宿泊できた。さっそく山菜の料理に取り掛かる。露天風呂も明るい夕方前と夜8時の2回入浴し、ワラビ、フキ、ミズ、ウド等の山菜、餃子、焼き鳥、豚汁、大きな落花生（ぬれ落花生、Iさんが自宅の庭で育てている）を賞味し、9時頃には就寝した。



## 2日目（18日）：菊池 記

志賀高原熊の湯—志賀山—奥志賀山—四十八池湿原—鉢山—熊の湯—国道最高地点—草津（西の河原大露天風呂）—帰葉

- ・志賀高原周辺・草津芳ヶ平はスキーではよく訪れる。ハイキングでは夏の横手山・東館・草津白根、紅葉に時期は木戸池・田の原湿原・蓮池周辺を訪れた経験があるが梅雨時の志賀高原ハイクは初体験である。

笠ヶ岳をバックに前山脇の登山道を進んだ。まずは横手山が見える渋池の畔を通過。



今シーズンは横手山・渋峠は積雪が多かったため、ルートにはまだ残雪が残っている。池巡りに周辺のいくつかのピークを登る変化に富んだ魅力いっぱいの周回ルート、梅雨時の花も数多く楽しめた。ムラサキヤシオ・イワカガミ、標高 2036m の志賀山へ標高差 150m 余り深山の霧囲気を醸し出す急登、オオカメノキが素晴らしい。可憐なミツバオーレンも見られた。山頂付近は岩山、急な岩の間を縫いながら頑張る。下の景色が見渡せるところでは。残雪の残る池が神秘的に見えた。



急登りを終えると間もなく三角点のある頂上であるが、樹木に囲まれて視界は効かない。記念撮影をして裏志賀山に向かった。四十八池に向かう登山道の途中で裏志賀山に向か

う道が分かれている。残雪が多い斜面があり、スキーを持参しなかったことが悔やまれた。???



視界が開けてくると四十八池湿原の向こうに横手山が見える。志賀山山頂は木に囲まれており志賀山神社がある。少し先に進むと、今回のハイライト、エメラルドグリーン湖面が目に飛び込んできた。大沼池である。固唾をのむような素晴らしいグレートビューであろうか。我々以外にも数パーティ来ていたが、次から次へと歓声が上がった。強度の酸性で魚は生息できず、ため息の出るような色合いにシャッターを押しまくった。

今度は、紅葉に時期にでも、大沼池の畔のハイキングに期待ものである。志賀高原の奥深さを実感できた。



興奮冷めやらない気分で四十八池湿原に向かって降りていく黄色いスマイレやシャクナゲを見つけた。



湿原に到着、なかなかいい感じです。ところどころ水芭蕉の葉っぱ巨大化していたが、雪が消えたばかりの湿原にはしっかりした群落が残っていた。6月中旬のこのルートは変化があり素晴らしい、つい「志賀高原バンザイ」と心の中で叫んでしまった。



最後は鉢山への登りです。ここでもイワナシやノウゴウイチゴなどが楽しめ、5時間余りの周回ツアーは終了した。



その後、残雪のかなり残っている渋峠から国道最高地点に行ってみた。草津白根山と眼下の芳ヶ平に向かって、残雪と緑のコントラストを見られるのではと期待したが、ガスで視界不良、記念撮影のみで、笠ヶ岳・松川溪谷温泉に向かうべく、熊の湯に下った。笠ヶ岳の登山口経由で高山方面に向かう道路に入ると、通行止めの標識がある。災害復興の工事が行われているようである。次回に宿題を残した形で再度、渋峠から草津温泉に向かい、西の河原の大露天風呂を楽しみ、湯畑で記念撮影、温泉まんじゅうをお土産に購入、帰路に向かった。



